

福島県観光復興対策実施計画 平成30年度評価調書

別紙1

都道府県名	福島県	計画に包摂される市町村	福島市、二本松市、会津美里町、いわき市、田村市、塙町、相馬市、白河市、会津若松市、喜多方市、郡山市、須賀川市、大玉村、鏡石町、天栄村、古殿町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、三春町、小野町、本宮市、猪苗代町、柳津町、下郷町、南会津町				
計画期間	平成28年度～令和2年度	評価責任者	商工労働部観光交流局観光交流課 友 敏光				
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:人泊)	69,000	90,000	117,000	153,000	200,000	各指標は暦年を対象期間とする。
指標②	外国人旅行消費額(単位:百万円)	2,707	3,058	3,425	8,322	10,878	
指標③							

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		福島県の観光入込客数の増加(H29:54, 494千人→H30:56, 336千人 前年比103.4% ※福島県観光交流課調べ)					
2 定量的指標の達成状況	指標①	目標値	117,000	目標値の実現状況に関する評価	プロモーション強化事業により、重点市場の特性・嗜好に応じたWEBによる情報発信や1to1の対応によるフォローアップを実施し、見込み顧客の増加や誘客につながった。また、現地プロモーションや招請事業等の実施により旅行商品造成数も増加し、外国人宿泊者数が大幅に増加した。引き続き、外国人目線による情報発信を行うとともに、サムライやアウトドアクティビティなど、福島ならではの着地型コンテンツを充実させ、更なる誘客を促進する。 外国人延べ宿泊者数が大幅に増加したことから、外国人旅行消費額についても目標を達成した。引き続き、広域観光ルートの周知や着地型コンテンツの磨き上げを行い、滞在時間の拡大と地域内消費額の増大を図る。		
		実績値	141,350				
	指標②	目標値	3,425	目標値の実現状況に関する評価			
		実績値	8,372				
	指標③	目標値		目標値の実現状況に関する評価			
		実績値					
3 事業の進捗状況	外国人延べ宿泊者数及び旅行消費額とも目標値を上回る実績を達成しており、計画に基づいた事業の進捗が図られている。						
4 評価方法	福島県インバウンドアドバイザー会議による。						
5 中間評価の公表方法	県のホームページにおいて公表する。						
6 計画全体の総合評価	本観光復興対策実施計画に基づき、東北観光復興対策交付金を活用し重点国・地域のニーズに合わせ、戦略的なプロモーションや県内の受入環境の整備を一体的に進めることができた。さらに、地域の関係団体等によるインバウンド誘客の取り組みを促進することで、各地域ならではの魅力を向上し、外国人延べ宿泊者数や外国人旅行消費額の増加という効果につなげることができた。						
7 今後の方針等	目標の達成に向け、本観光復興対策実施計画に沿って戦略的マーケティングに基づき事業を進めるとともに、引き続き地域の関係団体等によるインバウンド誘客の取り組みを促進していく。特に、域内滞在時間の長期化や旅行消費額の増加に向けて、受入環境の整備とテーマ性をもった着地型体験コンテンツの創出・磨き上げを行い、来県者の満足度を高めリピーターの増加やアンバサダーの創出につなげていくとともに、重点市場の特性に応じて新規見込顧客の獲得に向けた情報発信などのプロモーションを実施していく。						